



いのちをみとどける

日時：2008年5月9日（金）18:00～20:00

会場：茨城県産業会館 中会議室 〒310-0801 水戸市桜川 2-2-35

第5回は、人が転機を迎えるときと言うことをテーマに、はじめに大須賀幸子先生から、自らの体験を元に、自分の生き方に大きく影響した患者さんの例などをお話しいただきました。良い悪いという価値や患者さんと医者という関係を超え、敢えて言うなら魂と魂が相對した時に、患者さんも医療者も変わっていくものだと思います。また、大須賀発蔵先生からは、自分の人生の中で転機となったいくつかのエピソードを例にお話しいただきました。人生を決定づけるものは、非日常的な特別のものではなく、純粋な思いやりや誠意に出会った瞬間に、雲が晴れるように訪れるものだったというお話だったと思います。私たちにあって何でもない無垢な関わりこそ、人の転機のきっかけになるのではないのでしょうか。

お陰をもちまして、いばらき診療所こづる定例会も昨年より開始して一年がたちました。第6回は、家で看取られるということについて考えてみたいと思います。人は病気を治すために生きているのではありません。しかし、いつか看取られる日が来ることは否定しがたい事実です。看取る側の技術の問題ではなく、看取られる人の心情や家族の思いなどを考えながら、具体的に在宅での看取られた方の事例などを交え、人生を家で終えるということについて考えてみたいと思います。今回から、講演会形式ではなく、当方から話題提供をさせていただき、皆様の声をお聞かせいただけるような形式にしていきたいと考えております。是非今回もご参加ください。

申込方法：当日の準備の都合がございますので、お名前、連絡先、所属機関をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。

申込先：いばらき診療所こづる
〒311-3107 東茨城郡茨城町小鶴 127-1
電話：029-291-0055 FAX：029-291-1456
E-mail：ibckozuru@ibc.or.jp

参加費用：無料

問合先：いばらき診療所こづる 高野



FAXでのお申込の場合、この用紙をそのままお使いください。

お名前：

様

ご連絡先：

所属機関：